

快適健康都市 佐久

～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

第二次佐久市総合計画 概要版

基本構想 : 平成 29 年度 ～ 平成 38 年度
基本計画 (前期) : 平成 29 年度 ～ 平成 33 年度



第二次佐久市総合計画の概要

総合計画について

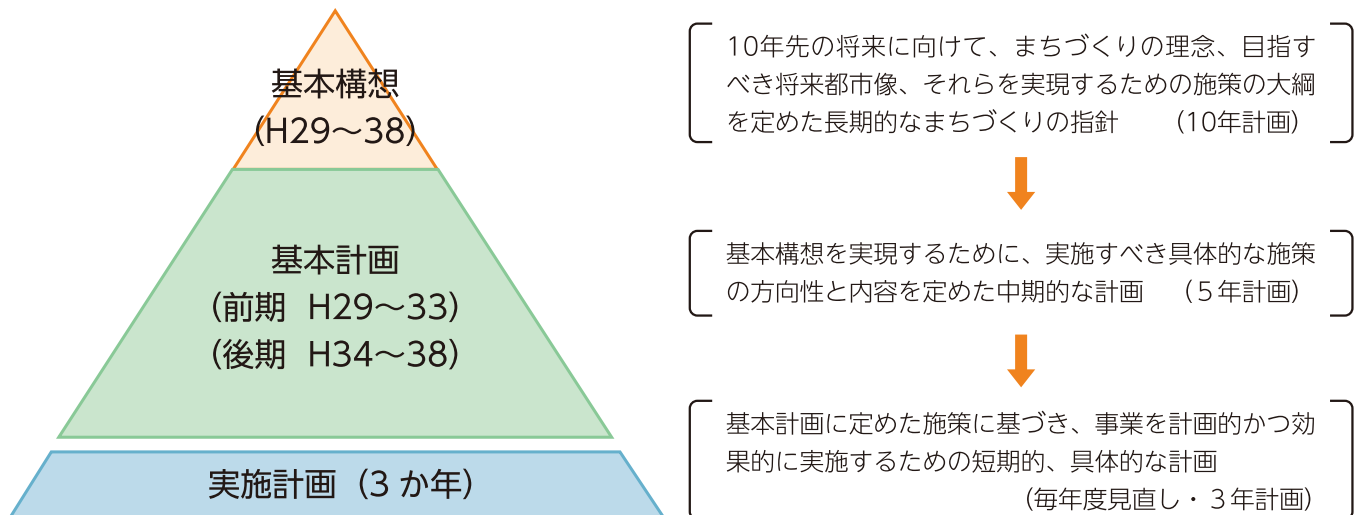
「総合計画」は、「まち」の目指す将来の姿や、その実現のために必要な取組を定めた「まちづくり」の最も基本となる計画です。

人口減少・少子高齢化の急速な進行や、スマートフォンによるインターネット利用の普及を始めとするライフスタイルの変化など、私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化し続けています。

このような時代の変化、課題を的確に捉え、いまの世代だけでなく、将来の世代も「暮らしやすさ」、「住みやすさ」、「働きやすさ」を実感できる、持続的に発展できるまちづくりを目指して、「第二次佐久市総合計画」を策定しました。

第二次佐久市総合計画の構成

第二次佐久市総合計画は、「**基本構想**」「**基本計画**」「**実施計画**」により構成されています。



計画策定の基本方針

計画の策定に当たっては、次の3点を基本的な考え方としています。

・市民にとって分かりやすい計画づくり

施策の目標を数字で示すとともに、今後も達成状況などを公表していきます。

・PDCAサイクルによる継続的な改善が可能な計画づくり

Plan (計画)・Do (実施)・Check (評価)・Action (改善) のサイクルで、計画をより良いものにしていきます。

・10年を振り返り、10年先の飛躍につながる計画づくり

新佐久市誕生からの10年、第一次総合計画期間の10年を振り返り、10年先の飛躍につながる計画とします。

第二次佐久市総合計画策定の背景（ひと・まちの変化）

私たちを取り巻く環境には、次のような様々な変化が見られます。

特に、急速に進む人口減少は、「まち」の活力を低下させてしまうおそれがあることから、「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27～31）」とともに、全力を挙げて人口減少対策を進めていく必要があります。

社会全体が変わったこと

- ・ 少子高齢化、人口減少の急速な進行
- ・ 価値観、ライフスタイルの多様化
- ・ 安心・安全を求める意識の高まり
- ・ 経済のグローバル化（地球規模化）
- ・ 地球環境問題、エネルギー問題の深刻化



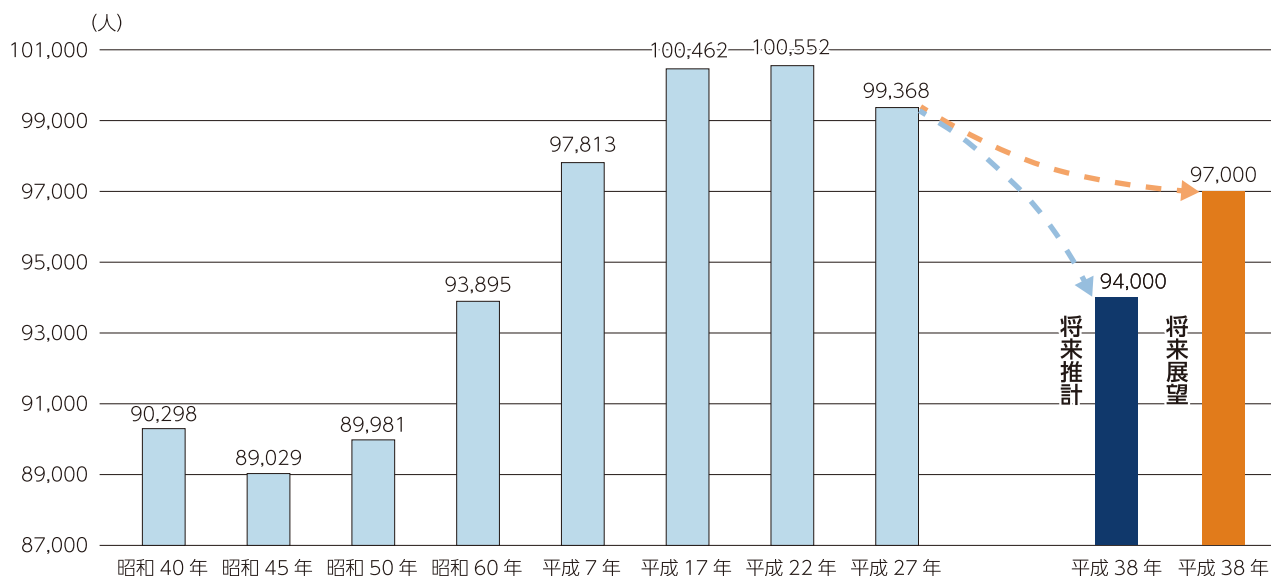
佐久市が変わったこと

- ・ 「佐久市まち・ひと・しごと創生」の始まり
- ・ 高速交通網のさらなる拡充と新たな流れ
- ・ 健康長寿のさらなる推進に向けた動き
- ・ 新しく生まれた世界とのつながり

佐久市の人口の推移とこれからの見通し

平成27年の佐久市の人口は**99,368**人（H22比 1.2%減）となり、これまで増加傾向にあった人口が45年振りに減少に転じて、本格的な減少局面に入りました。

このままのペースで人口減少が進むと、平成38年には**9万4,000**人程度にまで減少することが予想されています（将来推計）。第二次佐久市総合計画では、人口の自然増（出生数を増やすことなど）と社会増（転入者数を増やすことなど）に取り組むことで、平成38年に**9万7,000**人の人口となること（将来展望）を目指すとともに、常に将来を見据え「人口**10万人**を目指す」ことを基本的な姿勢とします。



資料：□ 昭和40年～平成27年：総務省「国勢調査」
■ 将来推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計値
■ 将来展望：「佐久市人口ビジョン」の仮定値を用いた推計値

基本理念

第二次佐久市総合計画では、「まち」の活力と魅力を高めるとともに、心の豊かさにつながる「ひと」の暮らしの質を高めることで、「まち」が「ひと」を呼び込み、「ひと」が「まち」をより良いものにしていく「まち」と「ひと」の好循環を目指します。

このような「まちづくり」を実現するため、次の3つを基本理念とします。

「市民の実感から始まり、実感に結びつく」まちづくり

- ・「幸福、豊かさ、満足、安心・安全、快適さ」を実感できるまちづくりを目指します。

「ひとと地域の絆をさらに強め、広げる」まちづくり

- ・「ひと」と「ひと」、「ひと」と「地域」、「地域」と「地域」の結びつきを強めるとともに、世界を視野に入れた交流、結びつきを広げるまちづくりを目指します。

「新しい発展の可能性に挑戦する」まちづくり

- ・受け継がれてきたまちの良さや特徴を生かして将来の発展の可能性につながるまちづくりを目指すとともに、暮らしやすさにつながる機能集約・ネットワーク型のまちづくりを進めます。

将来都市像

これまで培われてきた豊かな自然・文化と都市機能が調和した快適な生活環境や、関係機関・団体、行政が一体となって支える市民の健康づくりといった佐久市の魅力・強みをさらにより良いものとしていくことで、**佐久市に住む全ての「ひと」が「暮らしやすい」、「暮らして良かった」と思えるまち、心身ともに健やかに暮らせるまち**を10年後の佐久市の目指す姿とします。

また、安心して出産・子育てをしたい、健康で生き生きと暮らしたい、自然・文化とふれあいたいといった様々な希望を実現できる「まち」となることで、**佐久市内外の多くの人が佐久市で暮らしたい、働きたい、佐久市に行きたいと思うまち**になることを目指していきます。

このことから、第二次佐久市総合計画の将来都市像を

快適健康都市 佐久

希望をかなえ 選ばれるまちを目指して

としました。

基本構想 (H29~38)

基本理念
将来都市像

施策の大綱 (政策分野)

1 教育・文化分野

生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり

2 都市基盤分野

地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり

3 経済・産業分野

力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり

4 保健・福祉分野

豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり

5 自然環境・生活環境分野

快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり

6 防災・安全分野

暮らしを守る安心と安全のまちづくり

7 協働・交流分野

ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり

前期基本計画 (H29~33)

施策横断で取り組む5つの重点プロジェクト

1 安定して働き続けることができるまち

2 多くの人に選ばれることができるまち

3 安心して結婚し、子どもを
生み育てることができるまち

4 安心して暮らし続ける
ことができるまち

5 健やかに暮らし続ける
ことができるまち

プロジェクト目標
(成果指標) を
設定

(施策分野)

(施策項目)

第1章

- ・将来を担うひとづくり
- ・主体的、創造的な学びと文化の熟成
- ・尊重され支え合う社会の形成

幼児教育、学校教育、高校教育・高等教育、青少年健全育成
文化・芸術、生涯学習、スポーツ
人権尊重社会、男女共同参画社会

第2章

- ・地域の特徴を生かしたまちづくり
- ・地域をつなぐ交通ネットワークの形成

土地利用、市街地、公共施設、住宅
高速交通ネットワーク、地域交通ネットワーク

第3章

- ・豊かな自然を生かした農林水産業の振興
- ・活力と魅力があふれる商業の振興
- ・地域の魅力を生かした観光の振興
- ・力強いものづくり産業の振興
- ・地域を支える安定した雇用の確保

農業、林業、水産業
商業・サービス業
観光
工業
就労・雇用

第4章

- ・生涯にわたる健康づくりの推進
- ・地域で支え合う社会福祉の充実
- ・安心できる出産、子育て環境の整備

健康増進、保健活動、医療、医療保険・国民年金
地域福祉、介護・高齢者福祉、障がい者福祉、ひとり親家庭支援・低所得者福祉
少子化対策・母子保健、子育て支援・児童福祉

第5章

- ・豊かな自然環境との共生
- ・良好な地球環境の確保
- ・快適な生活環境の創出

環境保全、街並み緑化・公園・景観形成
地球温暖化対策
環境衛生、上水道、下水道

第6章

防災、消防・救急、交通安全、防犯、消費生活

第7章

- ・市民の力が生きる地域社会の実現
- ・地域の力が生きる交流と連携の推進

市民協働・参加、地域コミュニティ、行財政経営、高度情報通信ネットワーク
地域間交流・国際交流、広域連携

施策項目ごとに市民アンケートによる満足度指数を施策目標として設定

目標の達成状況を検証して、施策の継続的な改善を進めます。

前期基本計画 重点プロジェクト

1 安定して働き続けることができるまち

- ・安心して暮らしていくためには、経済的に安定していることが重要です。
このことから、仕事の創出、雇用の創出に重点的に取り組みます。

プロジェクト目標：市内事業所の従業員数

現状値 (H26)

40,203人

目標値 (H32)

41,500人

2 多くの人に選ばれることができるまち

- ・人口減少を抑えるためには、より多くの人に住んでいただくことが重要です。
このことから、佐久市への新しい人の流れづくりに重点的に取り組みます。

プロジェクト目標：人口の社会動態（転入者数と転出者数の差）

現状値

—

目標値 (H29～33 累計)

1,000人

3 安心して結婚し、子どもを生み育てることができるまち

- ・人口減少を抑えるためには、より多くの子ども達が生まれることが重要です。
このことから、安心して結婚、出産、子育てができる社会づくりに重点的に取り組みます。

プロジェクト目標：合計特殊出生率

現状値 (H27)

1.52

目標値 (H33)

1.74

4 安心して暮らし続けることができるまち

- ・安心して暮らしていくためには、住みやすい「まち」であることが重要です。
このことから、活力ある「まち」の創生に重点的に取り組みます。

プロジェクト目標：市民アンケートで「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合

現状値 (H28)

78.7%

目標値 (H33)

80%

5 健やかに暮らし続けることができるまち

- ・健やかに暮らしていくためには、心身ともに健康であることが重要です。
このことから、日常生活や地域を支える一人ひとりの健康づくりに重点的に取り組みます。

プロジェクト目標：健康寿命（日常的に介護を必要としないで自立して生活できる生存期間）

現状値 (H26)

男性 79.89 歳

女性 84.32 歳

目標値 (H32)

男性 延伸

女性 延伸



第二次佐久市総合計画 概要版

平成 29 年 3 月発行

発行：佐久市

〒385-8501 長野県佐久市中込 3056

電話：0267-62-2111（代表）